

北辰会報

第24号

発行者 大阪府立北野高等学校
 定時制課程同窓会北辰会
 会長 岡田 多聞
 編集者 事務局長 前田 直人
 事務局 〒666-0262
 兵庫県川辺郡猪名川町伏見台1-2-97
 TEL・FAX 072-766-4170
 maeda_inagawacho@gaia.eonet.ne.jp
 印刷 タブレット
 TEL 06-6676-2520 FAX 06-6676-2519
 DTP 株式会社グラフィカ
 デザイン TEL 06-6765-1210 FAX 06-6765-1211

2018年北辰会総会、懇親会の年です ～元気であろう北辰会!何時までも元気一杯の私～

北辰会会長 岡田 多聞 (18期)



新年早々、北辰会は総会・懇親会に向けて歩き始めています。皆様の多大なご支援をお願い致します。

最近の世間一般の動きは想像を超えるものが有ります。15歳、中学生の藤井聡太君、張本智和君の活躍は日本を沸かせています。

安倍政権の森友・加計問題での付度。劇的な東京都知事選挙から思いもよらぬ小池旋風の凋落。風の頼みの民進党の離合集散のはてでの迷走。その結果として衆議院議員選挙での自民党の圧勝。理解を超えるものがあるようですがもの事の結果には原因が有ります。私達北辰会の皆

様は北辰の如く右往左往することなく、自分を信じ、他人を敬い、ぶれることなく歩みたいものです。

北辰会は同期会を中心にささやかですが信頼の輪と絆を強めています。幹事諸氏は同期会を総会に合わせて開催予定しております。昨年は23期で初めて全体の同期会が開かれました。50期以降も初めて幹事さんの会合がありました。嬉しいことです。私達も力になればとの思いです。このような活動が同窓会では大事なことだと思っています。また、年輩の諸先輩は体力維持も大変な中を懸命に北辰会を賛助金運動などで支えて頂いています。北辰会は「北辰会報」も24号となり、「北辰会HP」には毎月1500～2000人の方からアクセスが有ります。北辰会文集も今年度発行の「北辰V」～ほたるに雪に～で4冊になりました。又、1期生から15期生までの300名の先輩諸氏に「声の便り」を届けています。

地道に活動をし、まだまだ頑張る所存です。

皆様にはご家庭、地域、グループ、職場、北辰会など身近な所で暖かい雰囲気をかもし出して下さい。それが段々と浸透し広がる事を信じています。

そして、5月20日(日)には北辰会総会、懇親会を開催致します。元気で明るく楽しい和気藹々の総会・懇親会にしたいものです。

皆様のお元気なお姿を拝見し、私も元気を頂くつもりです。そして、今年も来年もお元気で頑張りましょう。

2018年の北辰会総会・懇親会予定

【日 時】	2018年5月20日(日)
【場 所】	母校多目的ホール
【時 間】	10時00分より11時30分
【内 容】	挨拶、諸報告、質疑、感謝状贈呈 記念講演 「24年間の議員生活を振り返って」 前参議院議員 直嶋正行 26期
【懇親会】	ホテルプラザオーサカ1F「雅の間」12時30分～15時30分
【会 費】	7千円

目次

会長からの挨拶	1
校長先生からの挨拶	2
恩知新校長先生を表敬訪問	3
お世話になりました	4
皆様からのたより	7
同期会・同好会だより	16
事務局からの報告	23
北辰会賛助金のお願い	28

ご 挨拶

～北辰会の皆様に「粋」と「縁」をいただきました！～

大阪府立北野高等学校 校長 おんち 恩知 ただし 忠司

北辰会会員の皆様に置かれましては、益々、ご清栄のこととお慶び申し上げます。校長の恩知でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

教員生活において、定時制との接点が全くなかった私にさえ、「北宸IVはるけき流れ」や、玄関前の記念碑、校舎内の北宸記念室の佇まいから、同窓生の皆様が夢を描いて苦学力行されていたセピアの光景が浮かんできます。すぐれた足跡は、時は移れど後人にも自ずと伝わるものだと思います。



さて、先日、いわゆる、忘年会で常任幹事の皆様とお会いする機会がありました。宴もたけなわ、下戸の私がノンアルコールビールを注文すると、こともあろうか、飲み放題なのに売り切れた、とのこと。仕方なく、ウーロン茶を飲んでいたら、席をはずしておられた、岡田多聞会長が戻られ、缶入りのノンアルコールビールをそっと私の目の前に……。何と、近くのお店で買ってきてくださったのです！

こんな粋でやさしい心配りに私は後にも先にも出会ったことがありません。そして、その光景を目にした幹事の皆様の満足そうなお顔。「どう？うちの会長は違うでしょう？」北辰会の皆様が岡田会長、前田事務局長以下、分け隔てなく仲がよく、お互いを尊重し合っておられることを実感した瞬間でした。とは言え、聞けば、北辰会にも年代層にギャップがおりとのこと。皆様それぞれが縁を絡め合い、北辰会がこれからも長く長く存続することを心から願っております。

皆様の益々のご健康とご活躍を祈念して、私のご挨拶といたします。

北辰会幹部による母校の 恩知新校長先生を表敬訪問

2017年5月10日
北辰会事務局

5月8日（月）12時00分から12時30分まで母校校長室にて新校長：恩知忠司先生（前所属 大阪教育大学 教授）を表敬訪問致しました。

北辰会からは岡田会長、小河原副会長、兼田事務局次長、井上常任幹事、平沼常任幹事、堀田常任幹事、佐藤会計監査の7名が伺いました。恩知校長先生は、大阪府教育委員会（現大阪府教育庁）で10年間教育行政に当られ、その後大阪教育大学教授として高校と大学の橋渡しを進められて、4月1日付で本校校長に着任されました。気さくな明るい先生です。

北辰会から、岡田会長より会の現状報告を行い、来年（2018年）5月20日開催の北辰会総会等についてのご配慮をお願い致しました。続いて参加者それぞれが自己紹介する中で、在学中の思い出や母校への想いを語りました。

校長先生のお人柄に触れ、和やかに懇談ができ気持ち良い訪問となりました。



前列左から:岡田会長、恩知校長、小河原副会長
後列左から1人目 山内事務長

お世話になりました

故 川野眞次郎 元北辰会会長の思い出

前北辰会会長 こじょう 古城 ともすけ 具祐 (18期)

2017年11月26日、川野北辰会元会長はご逝去されました。83歳でした。お亡くなりになるその朝、最後のお別れをすることが出来ました。ご冥福をお祈りいたします。

2011年6月、言語障害を伴う2回目の大きな大病で6年半の入院生活でした。

私が川野元会長に初めてお目にかかったのは、母校定時制創立五十周年祝賀会行事も終わり、当時の北辰会重鎮の懇親会、「北辰クラブ」へ参加したときでした。25年以上前になります。

当時、川野さんは府立高校教頭先生でした。私は民間の小企業の経営人でした。年齢的にも近く、私が3歳位若く50歳前後で二人共元気一杯でした。北辰会、北野高校定時制を共に誇りに思っていました。

川野さんはお酒とお話が好きで情熱の人でした。お喋りは、よそでの川野さんは知りませんが北辰会では何時も会話の中心でした。定時制時代の文化祭で、演劇でご活躍されたと聞き納得出来ました。

川野さんは北辰会幹事会、卒業式の後などの懇親会では本当に気を置くことなく、飲み、皆さんと歓談されていました。天真爛漫で北辰会は川野さんのオアシスなんだなあと言っていました。事務局長の前田君は余り飲ませたらアカン、奥様に叱られると何時も言っていました。残念ですがお酒が病気の引き金になった事は否定出来ません。川野さんなりにセーブしていたのでしょうか。北辰会の会合はそれを忘れさせていたのでしょうか。

赴任先の高校、定年後の短期大学、北辰会でも「閉課程問題」で揺れる中でも、校長時代、

「日の丸掲揚」問題でも裁判沙汰になっても信念を曲げることなく貫かれました。

川野元会長の20年間は北辰会興隆期であったと思っています。役員会、事務局、総会、同期会、会報、文集発行など、どれも目を見張るものがあります。土台を築かれました。

私は18期会を足場に幹事、常任幹事、最後は20年間務められた川野さんには及びませんが後を託され会長職を10年務めることが出来ました。北辰会では何時も川野さんの背中をみて歩んでいたと思います。

川野さんはさすが高校の校長を勤め上げた方です。皆様の前での挨拶や文章は卓越していました。

私は川野さんのようには行きませんが定時制に対する想いは人一倍あったと自負しています。

2003年からの母校定時制閉課程問題で、北辰会は反対運動での進め方でむつかしい問題を抱えました。その時川野さんは頭を切開するような大病に罹りました。北辰会は会長の意に沿わない運動も展開することになりましたが、会長職を投げ出す事なく最後は従来 of 和やかな北辰会へ戻されました。

命を掛けたのだと思います。安定した北辰会を見届け私にバトンタッチされました。

私も、会長就任とほぼ同時にガンを患いました。私は隠し通し、川野さんを見習い辞任することなく10年の北辰会会長を務めることが出来ました。川野さんには感謝しています。

私たちも高齢になりましたが岡田多聞北辰会長の下で、北辰会で和気藹々楽しめます。

今度は空からお好きなお酒を飲みながら、あなたが揮毫された北辰会報を読み北辰会を見守って下さい。

*事務局

表記の通り長く北辰会を指導して頂いた川野元会長が死去されました。謹んでお悔みと感謝を申し上げます。



川野4代会長

北辰会事務局員 26期上村加代子さん逝く 感謝を込めて

事務局 ^{まえだ}前田 ^{なおと}直人 (25期)

去る、2017年4月9日、上村加代子さんは70歳の生涯を閉じました。

上村さんは北野高校定時制で1学年下の26期生でした。在学時は学生の政治運動も盛んで、北野高校定時制課程も自治会中心に「大定連」問題で色々な大きな運動がありました。

私もその中の一員の波でした。彼女も演劇部等で動いていることは薄々感じていました。

私は卒業後、北野高校定時制とは縁切り状態でした。

上村さんとの再会は、私が凶らずも北野高校定時制課程創立50周年記念事業の祝賀会の実務責任者となり、当日受付付近をバタバタしていたら受付卓から受付担当を依頼していなかった彼女から「前田さん、上村です」と声を掛けて頂きました。

「上村加代子さんありがとう」と返事しました。彼女の参加は掴んでおり、元気にしているのだなあ～との認識は持っていました。

私は北辰会の力量を上げるため、同期会幹事、事務局員力量アップに取り組んでいました。

今回、北辰会常任幹事に就かれた富山市在住の26期岡田美乃利さんの呼びかけで発足した「途上人KITANO」のメンバー同士となり友好を深めました。

また、私から依頼の北辰会事務局の仕事も気持ち良く引き受けて頂きました。

私からの依頼を、体調不良、地域介護支援活動が忙しい時以外断ったことが有りませんでした。

上村さんから甲状腺ガンでリンパ節に転移していると聞かされた時、驚きましたが彼女は全く弱みを感じませんでした。また、肺に転移し、摘出手術後は友達と一緒に見舞った時は術後の痛みで苦痛の姿を初めて見ました。



2011年松本城にて 左から3番目、上村加代子さん

血液ガンへの転移報告を受けた時も平然としていました。無理な治療法はしない。運命を受け入れると言われました。

体調が少し良い時は、途上人KITANOや26期会へ参加されました。

最後に段々薬が効かなくなっている。3月中旬、これが最後になるかも知れないと連絡がありました。最後の面会することなく逝かれました。

周りの友達は何と強い人と言っていました。

上村さんは愚痴、悪口を言わない人でした。周りの人たちをほっと暖かくさせる人でした。

家族、学友、職場、地域の多くを支え、支えられ愛された優しい人でした。

私にとっても、北辰会にとっても大事な人を失い気落ちしていますが上村加代子さんの「お別れの言葉」にある「メールへ時おり報告してください。返事は差し上げますが読めない、聞こえない言葉なのでどうか私の気持ちを感じてくださいね」の上村加代子さんの気持ちを感じることが出来るよう私も日々努めます。

感謝を込め上村加代子さん安らかにお休み下さい。

合掌

上村加代子さんからのお別れの言葉

大病後も 皆様のおかげで素敵な時間を持つことができました。

お別れは寂しいですが 悔いや気持ちはありません。

新しいメルアドを作りますので 時おり報告してください。

返事は差し上げますが 読めない聞こえない
言葉なので

どうか私の気持ちを感じてくださいね。

それでは皆様にお読みいただける最後の言葉
です。

ありがとうございました さようなら・・・

上村 加代子

「愛情に基づく 人と人の繋がりが何にも代
えがたい宝ものでした」

介護支援の会 松原ファミリー

代表理事 豊永 雅雄さん 告別の言葉

高校や職場など あらゆる場で人との絆をは
ぐくみ沢山の友人に恵まれて 人生を充実させ
た故人

父親の介護をきっかけに 松原介護者家族の
会や松原ファミリーの運営に携わり心を尽くし
ていました

持ち前の 細やかな優しさと豊かなユーモア
は私たちを どれほど癒やしてくれたことで
しょう

平成26年5月 難病を発症してからも主治医
と話し合い「自分らしい生き方を・・・」と服
薬による治療法を選択し 前向きに過ごす日々

おしゃべりや食事会 旅行に観劇 コンサー
トや落語の鑑賞を皆様と楽しみ支えられながら
孤独感や不安もなく幸せに過ごせたと思います

晩節は 沖縄問題をはじめ 現代社会の課題
に悩み戦争のない平和な世界をいつも願って
いました

慈しみ深く 誠実だった人となりは改めて偲
べれます

2017年4月9日

上村 加代子さんは満70歳で生涯に幕を下ろ
しました。



前列中央 沖さん

しました。同48年卒業して、京都で仏教を学ん
だ後、昭和54年住み慣れた大阪を離れ名古屋熱
田の憶念寺（浄土宗）へ僧侶として入寺しまし
た。その後、春日井市高蔵寺ニュータウン（中
央西線高蔵寺）に寺を移し住職をして居りま
す。戸籍も秀一（しゅういち）から秀恵（しゅ
うけい）変えました。

先般、前田事務局長さん、そして数年前は古
城前会長さんより電話を頂きましたが、先輩達
からのご連絡に北野高校の夜学で学んでいた事
が懐かしく思い出され、大変嬉しく思いまし
た。

北辰会報等に見る学校の歴史、そして皆様方
の活躍等を拝見致しますのはとても楽しみな事
です。ただ、同期の方々の便りが無い事が残念
です。

同窓会で頑張っている居られた平井章君が若くし
て亡くなられ、とても悲しく残念に思いまし
た。真面目で優しい彼の顔が今も目に浮かび心
が痛みます。

私どもの三年四年のクラスは、授業中も笑い
の絶えない楽しいクラスでした。

そして、善き先生方にも恵まれましたのも幸
いでした。

担任で物理の安藤先生、英語の釋（南野）先
生、山田先生、大石先生、国語の秦先生、辻村
先生、磯田先生、政治経済の吉田嘉高先生、社
会の河合先生、保健体育の北条先生、亀井先
生、養護の瀬野先生、非常勤で国語の中川先
生、美術の中村先生。そして、食堂の牛乳ビン
の底のようなメガネのとても親切で面白い小母
さんの事も忘れられません。

北野高校定時制の思い出

おき しゅうけい
沖 秀恵(僧名)(32期) 旧名 秀一

私は、北野高校定時制に昭和44年19歳で入学

地理の宮井先生（神奈川大学に転職）、生物の石崎先生、お二方は私どもが卒業して数年で病で亡くられました。石崎先生の葬儀は、私がお世話に成って居りました、国語の本多先生の唯敬寺(茨木市別院町)で行われました。河合先生が参列されて居られた事を憶えて居ります。

本田先生も昨年（平成27年3月）83歳で亡くられました。

安藤先生、南野（釋）先生、友達と行った喫茶ビクトリア、中華の来来軒、不二家、敷津庵、酒饅頭の喜八洲等の十三界限の事が懐かしく思い出されます。目に浮かぶ先生方、友達の顔、声、皆んなあの時のままです。

安藤先生のお話しでは、東京八王子の進藤さんからは年賀状が届くとの事、私も仕事等で中央線の塩尻を經由して八王子へ時々参りますが、元気でお暮らしの事と嬉しく思いました。

原田君は中学の先生を定年退職し、菅君も定年退職し共に高槻にいます。有沢君は姫路で西本願寺派満勝寺の住職をされています。彼の話では同級生の徳丸順子さんに檀家先で再会したが、その後早くして亡くられたとの事、あの優しく美しい彼女の事を思い出して胸が痛みました。共に頑張った仲間達、それぞれに幸福に暮らしていて欲しいと思います。

懐かしい思い出の中には、夜学生の持つ生活の厳しさが有りました。随分以前になりますが、NHKラジオ深夜便で河村陽子アナウンサーが夜間学校の特集をされた事が有りました。私も生活に追われ乍ら頑張っ居た夜学時代の事を思い出して、胸一杯になった事を憶えて居ます。

昭和40年の入学写真（72年史258ページ）には学生服が多く見られますが、昭和44年では多くが私服です。時代の変化が伺えるこの頃、千里丘陵で万国博覧会が開催されました。そして、この国は急速に豊かに成ってゆき、高校進学率も年々高くなってゆきました。

私が入学した時代は、地方から集団就職で来る人達や在阪の中学を卒業して就職する人達がまだまだ沢山居ました。高校進学を断念せねばならなかった者にとって、夜学に通う事は色々複雑な思いも有りましたが、明日への一筋の

希望でした。

義務教育だけでは、就職や資格取得等、やはり不利な社会でした。当時の高校卒業者は大手企業に就職出来ました。大手都市銀行の方々の中にも、支店長を含め高校卒の方々がかかり居られました。（昭和60年）

我々の夢と希望を育んだ母校も72年の歴史を閉じてしまいました。十三駅前の火事、閉店して無くなった思い出の店、時の流れの中に自分の生きて来た証が一つ、また一つと無くなって行きます。

卒業して44年、時の旅人に成ってあの時の自分に会って助言が出来れば、と思ひ乍ら失敗だらけの人生をふらふらに成り乍ら生きてきました。大阪人らしく辛い時にも笑いを忘れず、気ままな一人暮らしをして居りますが、今、72年の歴史の中、あの学び舎で苦楽を共にして来られた多くの仲間達の事に思いを致し、御無礼致します。



皆様からのたより

南米ボリビア ウユニ塩湖紀行

さいとう ようこ
齋藤 陽子 (25期)

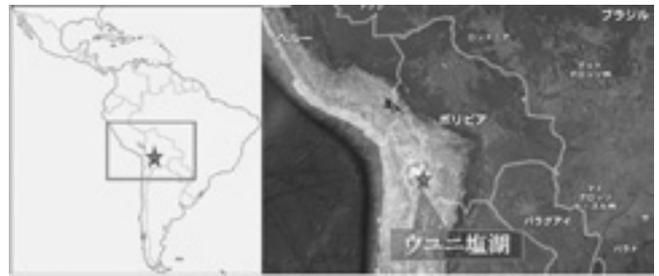
2017.2.15～23日の9日間、一度は行って見たい奇跡の絶景ウユニ塩湖に行って来ました。関空からロサンゼルス空港まで9時間。7時間の休憩を経てペルーのリマまで8時間。

ペルーは金、銀、銅、鉛、亜鉛など豊富な鉱物が産出される、世界1、2位の経済産業でしたが、スペインの植民地になってからは、生活も産業もスペインの支配下となり、原住民はことごとく弾圧されました。時が流れ、スペインが撤退する時には、価値あるものが大量に持ち

去られたそうです。しかし、今でも世界の5本の指に入る鉱物資源大国で、輸出のための輸送に使う線路が、港まで続いています。戦後、日本からのブラジル移民者は、船で一か月半以上掛かってリマの港に着き、陸路でブラジルまで辿って行ったそうです。ブラジルまで行かずにそのままリマで暮らし始めた人も大勢いて、リマの街を案内して下さったガイドさんは日系三世。リマの降水量は年間約200ミリでガイドさんは生まれてから一度も傘を差した事がないとか。

リマの街の観光を済ませ、ボリビアのラパスまで2時間。ラパス空港は、国際空港としては世界一高い所に作られた空港（標高4060m）。飛行機のドアを出た途端、息苦しくてこれからの行程は大丈夫かと心配になりました。ボリビアの首都ラパスは、高低差700m程の、まるで播り鉢の様な地形の街で、底に当たる所に公共施設、銀行、各企業、病院、繁華街など殆どの経済の軸が集まり、行き交う人は半端じゃ無い多さで溢れ返っています。その活気溢れる街を取り囲む、便利の良い場所に富裕層の家が建ち並び、上に行く程、経済事情の厳しい人達が住んでいて、昔は歩いて、今は乗り合いのマイクロバスや、ワゴン車に詰め合って、通勤、通学、買い物に利用されています。それらの乗り物は日本車も多くみられ、長年使用されているらしく、行き交う車の殆どが車体にぶつけた跡や、穴の空いているもの、何度も塗装を繰り返したのかと思うような、層になっている車ばかり。たまに通る綺麗に洗車されたバスには、ホワイトカラー層と思われる、小綺麗な服装の人達がゆったりと乗っていて、此处だけでも貧富の差を感じないではられません。

近年、この街にロープウェイが設置され、山の上400m迄、片道50円で乗れる様になりました。上りだけ体験してきましたが、凄く近代的な、中は広々とした6人乗りのゴンドラで、ラパスの街が一望出来ます。今、運行しているのは2機ですが、今年中に1機、2～3年中には合計5機運行する予定だそうです。便利に、楽になりそうですが、すべての山の上の住人が、それを利用出来るかどうかは、今後の課



題なのかも知れません。

ラパスを後に、さらに50分掛かって、3日目にやっとウユニ空港に降り立ちました。これでも何年か前より、うんと便利になったとか。四駆の車に分乗して、宿泊先の白亜の塩のホテルへ。壁も柱も、椅子もテーブルも廊下も真っ白。廊下に飾られたオブジェも、真っ白な塩。その日から3日間、白い塩の世界を堪能。残念ながら、元々鏡張りの景色を見たくて雨期を承知で行った為、雨や曇りばかりで、星空や朝焼けは見られませんでした。しかし、曇っていても雨が降っていても、さらに雹まで出迎えてくれていても、取り敢えず塩湖に向かって出発します。うたた寝をする程走ると不思議。嘘のように空は晴れているのです。水のない所では、怪獣のフィギアを使ってトリック写真。水の溜まっている所では鏡張り写真。昼食は、塩湖の中でテーブルやパラソルを設えて、ピクニックランチ。ずっと向こうの右にも左にも、大きな雨柱が立っていても広いから平気。いよいよ雨雲が近づいて来たら、さあ出発。またまたひと眠りする程走ると不思議。周りの山や雲が水面に映って、絵の様な鏡張り。ツアー仲間の人達と、お決まりの「UYUNI」の人文字も作って大はしゃぎ。

塩湖の中にあるインカワシ島という島のサボテンは、一年に1cmしか成長せず、最大級の5m近いサボテンを見ただけで、500年位前からこのような植物が生え、枯れる事無く育っているのがわかります。島はサンゴが化石化したもので、この辺り一帯が海だった事を示し、地殻変動によって地面がせり上がってアンデス山脈が形成され、そこに閉じ込められた海水が蒸発。流れ出る川も無く塩だけが残り、湖の様になったといわれています。塩湖の広さは東京都の5倍。一つの湖で様々な気象現象が巻き起こり、

塩湖の余りにも大きいのに驚かされます。地底からミネラルたっぷりの温泉が湧き上がり、現地の方が健康の為に足を浸しに来ていました。プロの腕に掛かった絶景とは雲泥の差は勿論だけれど、デジカメ片手に、変てこ写真だ、失敗作だと笑いながら、同行の人達と十分楽しい撮影が出来ました。ただ、塩湖でも標高3800m。軽い高山病のせいか、頭が痛かったり、息苦しかったりに、辟易したのが残念かな。

楽しい異次元を経験し、飛行機4機乗り継いで、また三日掛かりで関空に戻って来ました。ボアのフード付きコートを着て日本を出発。ペルーでは日焼け対策の為に薄めの長袖。曇った塩湖では、ボアのコートかユニクロのウルトラダウンのジャケットと、山用のレインスーツ。日が差せば半袖Tシャツ。サングラスに日焼け止めクリーム、ホカホカカイロ、レインシューズ等々。スーツケースの中にオールシーズンの荷物を入れ、重くて、重くて。飛行機の重量制限もあって、お土産を買うのも大変でした。

ウユニ塩湖でおすすめのお土産ベスト5撰（インターネット投稿引用）1位高確率で破けるウユニの塩「えっ、破れちゃっていますか？ やっぱりね。この塩のパッキング、原始的なんですよお」（実際に、この目で見て来ました。250g入るビニールの袋に、パパッと塩を詰め込み、数個穴を空けて、小さなガスの炎を出している鉄パイプに、ビニールをジュッと当ててヒートシールをして終わり。すべて手作業）2位使い道が見当たらない、よく割れる塩で出来た器まあ、よく割れてくれる。下手したら、梱包の段階で割れるのが勇ましい。何に使うか？ 女性のジュエリーを入れようものなら、あっと



インカワシ島での斉藤さん

いう間に錆びてしまう。そりゃそうだ。塩で出来ているのだから。3位アルパカも入っていません。毛羽立つマフラー。現地の方が、丹精込めて織っているマフラーと思いきや、ペルー製も多い。さらに、アルパカ100%では無いのに100%とうたっている。どうして分かったかという、大量購入したいと言ったら、店員が近くの工場から持ってきてくれたマフラーに付いていたタグに、ポリエステルの文字が。通常、店頭のマフラーにはタグが付いていないか破かれている。4位シャツと言うより染料パロディTシャツこのシャツの色落ちが半端じゃ無い。洗濯は単品でするのが基本だが、他のシャツと一緒に洗った日には、色落ちというより「新種の染色法か？」と思わせ、激しい色移りを経験する事になるだろう。5位実は捕まるティパックス。ボリビアから持ち出しは出来ても、アメリカ、日本には持ち込めないのがココ茶。運良く持ち込めるかも知れないが、運び屋さんになってしまうので、絶対買ってはいけない。5種類セットになっているタイプで、5種類の中に、ココ茶が入っているケースがある。「アメリカで、別室へ連れて行かれちゃってさあ」という伝説を作りたい人には、持って来い。

それでもなお、色々あって旅は楽しい。

細き流れも大河となる ～パソコンとのかかわり～

どうもと あつこ
堂本 敦子 (23期)

73歳、ただのおばちゃんです。

北野時代三年の進路選択で苦手な文科系を避け、理数系に進まざるを得なかった事が今に繋がっているのだと…

三十歳位でパートに出た職場が某スポーツ企業の水着専属下請けでした。



十年後には、メーカーとの受注や出来高報告をMS-DOS時代で、真っ黒のモニターに白の英語と数字だけの画面で訳も分からないまま操作していたものです。エラーメッセージに「何が言いたい!!」と、何度怒った事か…

我が家でも、手作りしてもらったPCからWindowsにと、何だかんだと自問自答しながら段々とパソコンにハマっていく自分がありました。

そのころ、仕事でアパレルCAD（島精機製・パターンメイキングからグレーディング、マーキング可）担当、このCADはパソコンを併用していて、オリンピック選手の水着も手掛けたりこの上ない楽しい仕事でした。彼らをテレビで目にしたときは感激でした。また、子供服メーカーの可愛い仕事も。

「パソコン教室」の先生へ

定年+ α で退職後、区民センターでシニア向けのパソコン教室の先生から依頼を受け私に出来る事なのか心配したのですが「やってみてからの事で…」と言われ、そこから今に至っています。8年位になります。今の生徒さんは、次期シニア群、現シニア群 計10名です。彼らはずっと来ていただいています。年末の忘年会で、専門学校にも行ってない私が思う事の一つで「私も73歳になり、皆さんに勉強を教えるなんてしていいのか？」と、問うと「どこまでもついていきますので見捨てないで」と（涙）もう一つ思う事にパソコンに不都合が出たとき「何もしてないのに…」との言葉がよく出ます。何かしてそうなったのよ(笑) しんどいですが楽しいです。

教室でのパソコンは持ち込みです。パソコンを購入した時期でバージョンが違います。

Microsoft社からの無償アップデートでバージョンが上がりWindows部分は全員がWindows10に揃いました。Microsoft社からは「これ以上のバージョンは製造しない」と宣言され年2回の大きなアップロードが来ます。ここで、Officeも全員同じにしようとOffice2016を購入したのです。以前はCDでインストールするのを楽しめたのですが、電気屋さんでパッケージ

版Office2016カードを購入、インターネットでMicrosoftにアクセス、書かれているコード入力や、諸々の設定をしながらインストールするのですが、とにかく初めての事で、ここにたどり着くまでの操作が大変でした。

今は、全員がWindows10・Office2016で頑張っています。

亡くなった母が「昼の高校にやれなくて…」が口癖でした。「今の幸せがあるのはあの学校（北野の夜学）に行ったからよ」が私の返事でした。先生方にも友達にも感謝です。

細き流れも大河となる <小さな努力が積もって大きくなる 努力はみのる>

孫自慢

にしむら きみえ
西村 喜美江 (25期)

長男の死

私には孫が4人隣家に住んでいます。この孫4人は亡き一人息子が私達に残してくれた宝物です。2007年、息子は30歳の若さ、急性白血病で1年半の闘病生活を越えることなく、下は1歳8ヶ月の男子双子、長女6歳5ヶ月、次女3歳6ヶ月の4人と27歳の若い妻を残して逝きました。

兵庫医大に入院していたので、お嫁さんは毎日車で通っていました。その間、私が4人の孫の面倒を見ていました。3ヶ月の双子と5歳、2歳の4人です。息子の心配は心の底に置きながら孫の為、お嫁さんの為、必死で孫育てしました。その間も、たくさんの友人が助けてくれました。

息子でありながら息子でないと思い知り、悲しさ、悔しさが重くのしかかり悩み抜きました。

これが私の人生なのかと……。代わるのであればかわってやりたい。それだけが重く心を責めていました。苦渋だらけの毎日でしたが、孫4人の笑顔が唯一の私の心の支えでした。

あれから、11年が過ぎました。孫達も思いやりのある心の優しい子に育ちました。

やっと、息子の事を色々と思い出す事が出来るようになりました。祭り好きで、性格も明るかった～。

一生涯、悲しさは同じですが、精一杯頑張っ
て息子の分まで生きて行こうと思っています。

孫の屋台「乗り子」に感激しました

播州姫路は秋祭りが有名で多くの神社で毎年10月に開催されています。私の住む地域の魚吹八幡神社は、ちょうちんわり・豪華な「屋台」が18台で練り合わせ・檀尻が4台で演芸等を披露・獅子檀尻が1台披露します。2016年10月、住んでいる宮田地区の屋台に5年生の双子の孫が「乗り子」になりました。10月1日から毎日太鼓の練習をして10月21、22日の本番を迎えました。

乗り子は土を踏んではいけないので家から若い衆に肩車をして頂き、屋台に乗ります。宮出しが孫の晴れ姿です。「乗り子」の4人が力を合わせて太鼓を叩きます。朝早くから夜遅くまでの2日間の出立ちです。豪華な屋台には4人の乗り子が乗り込んで太鼓を叩きながら掛け声を舁き手(担ぎ手)と掛け合います。

屋台と共に乗り子の衣装も龍や虎などの神獣を染めた豪華なものです。2日間楽しく無事にお祭りが終り、乗り子の孫が「天国のお父さんも感謝していると思います」と村の人達に挨拶しました。涙が止まりませんでした。知人も泣いてくれていました。

祭りが大好きだった亡き息子や亡き主人の思いを果たせた気がしました。

孫達は太鼓の稽古で大変でしたが、私も乗り子衣装を応援してやるのに財布と相談しながらで大変でした。でも、孫の晴れ姿を見ると感激し、喜びと元気をもたらした今年の秋祭りでした。

たくましく育っている姿を見て、お嫁さんにも感謝しながら、私の自慢の孫達です。

運動会応援団長

2017年5月に小学校最後の運動会で、紅白に



分かれて双子の球児、虎輝の2人が応援団長になりました。2卵性双子なので体格も顔も違います。宣誓を2人で掛け合いながらしました。応援合戦の時は2人共堂々として頑張っていました。結果は白組の兄の球児が勝利しました。

ぶすっとした弟の虎輝は悔しそうでした。校長先生と教頭先生から「良いお孫さん持たれましたね」と声をかけて頂き、とても嬉しかったです。

音楽会

2017年11月に、小学校最後の音楽会がありました。虎輝が、児童代表で「おわりのことば」を言いました。堂々と、臆する事も詰まることもなく大きな声で完璧にこなしました。

私はドキドキしながら見て涙が出ました。友達夫婦も泣いていました。感無量でした。

先生に「虎輝・・・完璧」と言われ喜んでいました。双子も2018年4月から中学生になります。

長女・次女

長女は、自分の希望する高校に推薦入試で合格。2018年4月からは3年生になり本格的に大学受験勉強に入ります。何とか頑張っ

希望の道に進んでくれると信じています。クラブは、ギター&マンドリン部で昨年からは指揮をしています。

次女は、2018年4月からは中学校3年生です。高校進学を受験生になります。クラブは、私と同じソフトボール部で2塁を守っています。

2018年の今年は大学、高校の受験前で大変です。お嫁さんも大変な1年になりそうです。

私はと言えば最近体力の衰えを痛感しています。1人暮らしなので、出来るだけ誰にも迷惑をかけたくないと言う思いが強くなっています。

1人息子が亡くなって11年、この間支えてくれた主人も亡くなって6年です。息子とは対照的に5時間であっけなく亡くなりました。以来、4人の孫と若いお嫁さんにどう接したら良いのか・・・悩みました。

母としてはとても辛い。でもお嫁さんはもっと辛い。例えようのない不安・悩み。でも孫の元気な顔を見ていると、取り敢えずは元気で居なければと自分の意志とは裏腹な毎日を過ごしていました。

仲間の励まし

その間、同期の仲間、息子の友達、友人に暖かく励まし助けて頂きました。手話サークルの仲間・地域の交通委員の仲間にも励まして頂きました。ボランティア活動もその後奮起して再開しています。

同窓会も同期会も出来るだけ参加して、思い切り話をして笑いパワーを頂いています。25期の同級生にもメールや電話で励まして頂きました。本当に良き人達に恵まれました

振り返ると、色んな事が頭をよぎります。最近では1日1日が早く過ぎる気がしています。

良いお嫁さんに感謝ばかりです。4人の孫を愛情一杯に良い子に育ててくれました。

私も恥ずかしく無いように、迷惑かけない様に残りの人生を元気で生きていきたいと思いません。

好きなことで頑張っています

たけもと はるお だいかく
竹本 治男 (大鶴)(29期)

この度、前田事務局長より事務局員に推挙していただきました。

青春のふるさと・北辰会に少しでもお役に立ちたいと思っています。未熟ですがよろしくお願いいいたします。

私は住友電工(株)養成校を卒業し1966年(昭和41年)北野定時制に入学…3畳一間での苦しい生活の中、好きな「書道」を続けて50年になります。

現在、4歳のお子さんから94歳のおばあさん達まで教えています。

日本の伝統ある総合美術展「日展」にも入選



展覧会会場での竹本さん 前列右端



教室での児童

させていただきました。「北辰会のホームページ」には何度か私の日展の作品を載せていただき感謝しています。

「一剣を持して起つ」を気概に生きがいのある人生を歩み続けたいと願っています。

途上人 KITANO 2017 例会 「能登の宇羅さん宅農業訪問と 能登ハイク」

世話人 かねだ よしはる おがわら きょうこ うめたに たけし
兼田 吉治、小河原京子、梅谷 武 (26期)

2017年7月20日(木)～21日(金)、途上人KITANO第22回例会「能登輪島の宇羅さん宅農業訪問と岩倉山登山」を実施し、総勢17名で元気に楽しんで来ました。

初日は、AM7:15にJR大阪駅前に集合し7:30出発。名神高速草津PAで京都組3名と合流し一路能登へ。金沢東ICから”のと里山海道”を北上し、”なぎさのハイウェイ”も走って昼食場所である羽咋市の「まつお」へ12:30着。ここで宇羅さんの出迎えを受け、富山の岡田さんご夫妻も合流。美味しい昼食とビールを頂いて一路輪島へ。能登の宇羅さん宅に15:30到着。

30町歩の稲作経営の現状説明を聞いた後、今日のメインである農業体験。軟弱な我々を配慮して頂いてミニトマトの収穫とジャガイモ掘り体験。

収穫分をお土産に頂けるとのご配慮を頂き各自頑張って収穫しました。収穫の後、今日の宿



古民家「酒蔵座敷」にて

である国民宿舎「やなぎだ荘」に17:30着。入浴の後宴会となり美味しい食事とカラオケを楽しみました。

2日目朝は観光組と登山組に分かれて行動。観光は岡田さんご夫妻で上時国家を観光。他の14名が曾々木海岸の岩倉山(357m)に登山。低い山でしたが、きつい山道を汗だくで登り、中腹にある千体地藏(流紋岩の柱状節理が異常に発達し長年の風化によって地藏様のような自然が造った奇跡の地藏群)や日本海の素晴らしい眺めを満喫しました。その後、輪島の朝市へ行き土産買い物。ねぶた温泉風呂で汗を流した後、世界農業遺産「能登の里山里海」の代表的な棚田である白米千枚田を眺めて、宇羅さんの奥様達が4月20日にオープンされた“酒蔵座敷”能登日和で昼食。

能登日和での昼食の素晴らしさは参加者の感想文に現れています。

13:30現地発。車中では例年通りカラオケを楽しみ、来年の行事内容を話し合い、草津PAで京都組と別れ20:30無事JR大阪駅で解散しました。

2017年の忘年会は12月1日(金)12:00～梅田：自然四季食処たちばなヒルトンプラザイースト店に決まりました

感想文 梅原仁

今回3回目の登山旅行能登半島の旅、大変楽しかったです。岩倉山にある自然に出来た千体地藏、そこから見た窓岩、日本海の景色が大変素晴らしかったです。又、昼食を取った古民家酒蔵、能登日和の料理がまた素晴らしく、もう一度行きたい店のひとつになりました。有難うございました。(2017.7.22)

西田成子

能登旅行お疲れさまでした。安心して無事な旅行を予定通り楽しむことができたのもひとえに幹事をはじめ世話人の皆さんのお蔭と思っています。観光は勿論、宇羅さん宅の農業体験や岩倉山・千体地藏登山に「能登日和」や「まつお」での昼食などいずれも満足のいくものでし

た。なかでも農家レストラン「能登日和」での食事は、地元の食材を使い輪島塗の器に持ち味を活かした一品一品が盛り付けられ目と舌で味わうことができました。また、老舗酒蔵の古民家を利用した環境が醸し出す雰囲気もあって悠久のひと時を過ごすことができました。

兼田さんには、この会が継続する限り何かとお世話になることと思いますが今後もよろしくお願いします。酷暑が続きます。健康に留意されますように。有難うございました。(2017.7.23)

仁張啓子

幹事の皆様、宇羅さん、有難うございました。農業体験楽しかった。農家レストランの美味しい料理、感激しました。山とは言えない山にも登り、盛り沢山のスケジュールもあり、遠くまで行ったとは思えない充実した2日間でした。来年も元気で参加したいと思います。(2017.7.27)

桑名耕治

楽しかった能登旅行(2017.7.28)7月20日～21日途上人KITANOの恒例行事は農業体験と超楽ちん岩倉山登山(329m)と決定。初日は26期宇羅さん宅にて経営説明の後、ミニトマトの収穫とジャガイモ掘りを体験、各自お土産として持ち帰りました。帰って早速、肉ジャガを頂きました



宇羅さんの農園にて

たが美味しかったこと、我が家の奥様大喜びでした。翌日の岩倉山登山は予想に反して超しんどいコースであり、全員汗まみれ。差し入れのミニトマトとキュウリで元気回復、美しい曾々木海岸を眺め、千体地藏に心を洗われ下山。

「途上人大名御一行」は宇羅さんの奥様や妹さんが共同経営される「農家レストラン」へ。豪華お昼ご飯と美酒に皆も舌鼓、浮世を忘れ大名気分、余も満足でありました。感謝、感謝。

高橋真智子

今回は宇羅さん宅での農業体験と言う初めての試みで草刈りかな？と思っていましたが、ミニトマトやジャガイモの収穫で楽しく過ごすことができました。早速今日肉じゃがにして食べました、ホクホクして美味しかったです。昼食も美味しく飲み放題と言われてつつい飲み過ぎましたが後で宇羅さんが払ってくださったとの事、本当にありがとうございます。とても楽しい旅行ありがとうございます。(2017.7.22)

私を形作った 北野山岳同好会 ～山岳同好会懇親会開催に寄せて～

にしさが かずひろ
西阪 一裕(23期)

JRのある駅に1枚の山岳写真が掲出されています。

大正池から見える奥穂と前穂に架かる吊り尾根と岳沢の風景で一般的なものである。

その吊り尾根は、昭和35年北野(定)に入学してすぐの夏、授業の一環だったのか、わからぬままに誘われて涸沢～奥穂～前穂～岳沢へと歩いたところで、後の生活に少なからず影響を与えられた初恋の場所でもありました。

通勤途中など、この写真を見るたびに学生時代に登った山、共に歩いた多くの友、お世話になった方々はと思いをはせていた昨秋、山岳同好会懇親会を12月3日に開催するとの案内状を頂き参加いたしました。

昭和35年当時の山岳同好会には多くの生徒が在籍しておられ、毎月の例会登山、文化祭での山岳写真の展示等、活気ある行動を行っていました。

その一つが、同好会誌「会報」の発行で、各



2018年23期同期会 右端、西阪さん

自が原稿を持ち寄り、35年12月に初刊、その後3刊まで発行しました。

この度の懇親会での話題作りでもと思い「北野定時制72年史」をひもといたところ、初刊への寄稿者が29名であったことを知りました。そしてよく見ると今回の懇親会に参加いただいた23名のうち13名の方が初刊に寄稿されているではないか!!

まさに驚きで、同好会で育んできた友情が卒業後50余年を経過しても色褪せることなく、遠方からも懇親会に参加していただけるのは、強い絆で結ばれているものと痛感し、同好会の一人として幸せなひと時でありました。

話題を少し変えて、最近の登山は道路や鉄道の整備に伴い、「手軽に早く」と、ピークハンターのごとく強行登山的な状況を見受けることが少なくありません。

往時の信州へは夜行列車から始まり、急行「ちくま」に乗るため大阪駅のコンコースで並ぶことが常であった時から、現在は真に隔世の感がします。

老いた脚には登山などは無理なこと、アナログ的な散歩が似合うのか。

吊り尾根がいつまでも気高き清廉で、訪ねる人を迎えていただきたいと願うのは私一人でしょうか。

老人が一人、恋人を求めて湖畔を訪ねるのも一興かなと思いを馳せるこの頃です。

♪♪ 枯葉散る夕暮れは、来る日の寒さをものがたり♪・・・♪

恋人よ、そばにいて、こごえる私のそばにい

てよ♪・・・

山岳同好会を育み、ご指導を頂いた教職員の皆様、多くの諸先輩の皆様に書面をお借りして厚くお礼を申し上げます。

50期以降の北辰を目指す 若人の会（チャミスル会）

せんが しげよ
千賀 茂世 (62期)

50期以降の幹事4人が、5月19日、17:00～鶴橋で幹事会や総会以外で初めて集まり、今後の活動について会議&懇親会を開きました。ご報告させていただきます。

河内さん、南さん、松浦さん、千賀の4人で、世代を超えて集まりました。自分たちが、北野高等学校定時制と出会った経緯や、どのような学生時代を送っていたか、また、何先生に教えていただいたか。等々 共通の話題で、生徒会会長だったとか、部活等々、元恋人の話もちらほらと。学生時代にタイムスリップしたようでした。

北辰会の優秀で素敵な先輩たちには及びませんが、自分たちなりに頑張って、今後、盛り立てて行こうと話合いました。サムギョプサルと韓国料理、大いに盛り上がった集まりでした。

8月には納涼の集いを、10月には海外に飛び出し見聞を広めて来ようなど、夢はどんどん広がっています。これからは、「北辰会HP」へ



左から 松浦さん、千賀さん、河内さん、南さん

UPして行きますので、どうぞ、ご支援ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

世話人 河内 昭治(51期幹事)、南 智(53期幹事)、松浦 弘美(54期)、千賀 茂世(62期幹事)



同期会・同好会だより

北野13期「歩こう会」例会

世話人 **谷村 隆一、畝狭 恒雄**

北野13期歩こう会 例会案内 平成30年度計画

月 日	129回	130回	131回	132回	133回	134回	12月 日
予備日	4月2日(月)	5月21日(月)	6月6日(木)	9月3日(月)	10月22日(月)	11月26日(月)	
行き先	まほろば線 一筆旅行	梅田スカイビル 空中庭園散策	長居公園	大阪生野 コリアンタウン	服部緑地都市 緑化植物園	巖山神社	
コース	大阪一京都一 奈良一大和 高田一和歌山一 福島	梅田スカイビル 空中庭園展望台 滝見小路散策	長居公園植物園 散策	大阪生野 コリアンタウン 散策	服部緑地都市 緑化植物園散策	巖山神社散策	1年の反省会次 年度の計画 検討会
集合場所 (改札前)	JR大阪駅 中央改札前 乗車券売り場	JR大阪駅中央 改札前	地下鉄長居駅 南改札口前	JR桃谷駅1番出口	北大阪急行 緑地公園駅 西改札口前	近鉄桜井駅	
集合時刻	午前8時30分	午前10時	午前11時	午前11時	午前10時	午前10時	
担 当	畝狭恒雄 072-633-6198	谷村隆一 072-635-9661	岡田和子 06 6623 5728	畝狭恒雄 072-633-6198	谷村隆一 072-635-9661	坂野誠子 0742-44-8695	
備 考	大阪一福島 切符 を購入 8時42分 京浜行 新快速に乗車						

13期生の皆様の参加をお待ちします。 お希望参加日は各担当者へご連絡ください



125回7月8日 神戸森林植物園



127回10月10日 阪堺電車の旅

北辰会第17期同窓会 報告

みやがわ さだお
報告者 **宮川 禎夫**

日 時 2017年10月18日
10:30~15:10
行 先 滋賀県 近江八幡市 水郷めぐり
及び 懇親昼食会
参加人数 16名

内容概略

朝、10時40分滋賀JR近江八幡駅に、参加予定者全員集合。

数日前より雨天続きで天候が心配されたが、幸い当日は晴天、又は曇り空の様子。

水郷めぐりの乗船場までタクシー4台で移動、予定通り11:00乗船、約1時間、よし群生地の水路を手漕ぎ船で散策。下船後、タクシー4台で昼食場所へ移動。近江八幡、レストラン・ティファニーにて懇親昼食会を開催、料理はすき焼き及び、しゃぶしゃぶで美味しい近江肉を賞味し、会食中各位は旧交を温め楽しい時間を過ごせた様子であった。15:10頃現地解散とした。



2017年 北辰会17期会 後列左端、宮川さん

北辰会 第18期同期会 出席者一人一人みんな主役

みき じろう
三木 次郎

恒例の18期同期会が終わると、大阪は間もな

く爛漫の春です。今年は3月12日、おなじみの「十三・こがんこ」で開かれ、25人（男性21人、女性4人）が参加、ひと足早く話の花が満開でした。

正午過ぎ、いつも通り乾杯で開宴、しばらく歓談した後、全員が近況報告、アウトドア派、カルチャー派、ボランティア派に病院通い派もあってさまざまな活動ぶりが披露されました。懐かしい恩師の思い出や旧友の情報も。数年ぶりの参加者もありましたが、だいたい同じ顔ぶれの皆さんです。トランプ旋風の余波の株高で大もうけしたような話題があるはずはなく、参加者一人一人が主役の筋書きのない楽しい集い



2017.3 18期会 集合写真 2列目左から4番目、三木さん

は、予定時間を大幅にオーバーする盛会ぶり。このところ、カメラが趣味の森井久美子さんが「カメラ女子(?)」ぶりを発揮、いっぱい写真を撮ってくれました。ありがとう。

刺身、てんぷら、サラダにソバ、すしなど盛りだくさんの料理に、ビール、焼酎、ウイスキーなどアルコールは飲み放題。食べて、飲んで、語り合って・・・持ちきれない「数々の思



2018.3 18期会

い出のお土産」を胸に、来年の再会を約束して散会となりました。

北辰23期同期会 卒業以来53年目にして “初”の開催!

はたじ ゆたか
畑地 豊 (23期)

11月20日(月) 本日も今年の天候不順を象徴するかのような気候のなか、箕面公園に集結するころは今秋一番の冷え込みでスタートしたが“晴れしかし曇天そして雨も無し”という天候にも恵まれ、歴史的イベントの幕は切って落とされたのであった。馳せ参じた初老にはまだ少し早い感じの姿勢の良い“紳士淑女”の面々、午前中集合組総勢15名。“箕面滝道紅葉散策”でスタートし、学生時代と違い落ち着いた雰囲気での行動で、谷川と紅葉のオゾンを取り除いてリフレッシュした模様。そのまま午後集合組8名が待つ、懐かしの“十三”の「祝宴会場」へ移動し、ここで漸く23期生が一同に集結したので有ります。(合計23名)。幹事さんから聞いた今回のデータを紹介しておきましょう。23期卒業生168名、物故者18名、住所判明者59名(判明率35%)

案内状発送59名、出席者21名(出席率36%)

懇親・祝宴は堂本敦子幹事の司会によりスタートしました。最初に物故者(同期の18名並びに恩師の2名)に対して黙祷が捧げられました。

畑地幹事から開会挨拶が有り「今回の特徴は何と云っても卒業以来初めての学年同期会開催であり、まさに記念すべき出来事です。中野クラスは卒業以来継続して実施、特に25年前からは2年に1度1泊2日の内容で実行を継続。

「クラス会にとどまらず他のクラスにも呼び掛けて学年同期会を持ちたいものだ」という山本悦郎世話人の強い思い入れが実現に結びついたものと云えます。山本さんに謝意を表したいと思います。



前列右2人目から畑地さん、中野先生夫妻

中野先生には奥様同伴で山口市から御臨席を頂きました。厚くお礼申し上げます。今回は奈良、明日香方面にも足を延ばされた由。

南部先生には早くから『出席』の意思表示を頂いていたのですが、10月末に体調を崩され緊急入院、施術。既に元気に院内を散歩されておられるようですが、医師の勧めで11月一杯は入院とのこと。「欠席を余儀なくされ誠に残念」と皆さんへのメッセージをお預かりしています。

幹事一同としましても長く「23期会」を存続させ、皆さんが楽しく歓談できて笑えて楽しくなる会にしたいと思います。そしてこの発展を「北辰会全体の発展」につなげて先輩、後輩との交流の輪を拡げて行ってもらいたいと願っていますと語られた。

乾杯の音頭は滋賀県野洲市在住の綿谷修さんによってリードされ全員の元気な声が唱和しました。そして懇親の祝宴がワイワイと賑やかに進みます。

南部先生から皆さんへのメッセージ：西阪幹事によって代読されました。

北辰会会長/岡田多門様、事務局長/前田直人様から「お礼とお祝いのご挨拶」を頂戴している旨報告がなされました。（このメッセージはプリントして皆様に持ち帰りいただくこととなっています。）

出席者全員の近況報告 中野先生始め全員から近況報告がなされました。

中野クラスからの出席者はクラス会が常時持たれている感じですから、お互い“顔なじみ、常連”ですが、他のクラスからの出席者の方達

は皆さん初々しく感じられ、この場が一段と生えた感が有りました。しかし特筆すべきは「三橋永一さん」の出席ではないでしょうか！ 彼に言わせると『何せ50年ぶりで其の間北野とは全く疎遠であった由』。そして多くの皆さんの報告がおもしろおかしく、また為になる、感銘を受ける、楽しい話をたくさん語って頂きました。

校歌斉唱 金城さん、原田さんの指揮リードのもと全員で元気よく完唱されました。

幹事後記

1. 30名以上の参加を期待していたが力及ばずの結果となり、反省材料となりました。このこと以外では皆様のご協力を頂き、事故も無く予定通り事が運んだものと思っています。

2. これからの目標

①北辰会総会（来年5月20日開催）には23期から多くの参加を！

②全員で住所判明率の向上促進を（細かで密なる情報交換）！

③上部団体北辰会との連携強化

北辰会23期 2017年同期会

発起人 23期幹事 畑地 豊

同 上 西阪 一裕・倉田 淳子・堂本 敦子

世話人 山本 悦郎



箕面滝道散策

南部先生からのメッセージ

なんぶ まつお
南部 松雄

23期同窓会出席の皆様へ

前略 本日皆様方の前に顔を見せられないことをおわびします。

畑地君から最初の電話を頂いたのは薄ら寒さがまだ少し残っていたころでしょうか 何十年前かの大淀のしじまの夜の北野の思い出が、よみがえった気持ちになって今日の日を楽しみにしていました。

先月の中頃から息使いが苦しくなり27日に入院、即切除の治療が続いています。やっと病室の歩行ができるようになりましたが、心臓はまだ危険とのこと退院はしばらく無理な様子です。皆様にお会いできないのが残念です。

中野先生にも長らくご無沙汰失礼していますが何卒よろしくお許し下さい。

畑地君、西阪君、倉田さん、堂本さん、山本君、発起から計画まで、そして美しい案内状の最終決定版までありがとうございました。

さらなるご尽力による盛会を願っています。

笑顔の宴は大盛会大満足 ～52年目の青春は46のきらきら瞳～

さかもと しげお
坂本 成男 (24期)

好天の6月6日11時30分、十三こがんこ3階に集いました、恩師山本、菊井両先生をはじめ23名、定刻少し前に全員集合、関所で待ち受ける幹事に、会費と引き換えにメンバー表と座席図を受け取り、私の席はどこやあ、あんたはそこや、なんて姦しい事、いえ男女にかかわらずです。えー皆さん御着席ですかあ、と進行係の前田さん、まず酔っ払う前に小泉カメラマンのカメラで係の人にお願ひし、壁にしっかり貼り付けた坂本昭雄さんお手製の、日付、場所入りの横断幕をバックにはいチーズ、いい顔してね、みんなこれ以上ない真面目な?笑顔で。

さてそれからは、恩師以下のご挨拶、乾杯、近況報告、打ち克った病いの数も着にしながらワイワイガヤガヤ、飲んべは当然ビールも進む下戸はウーロン茶で、前田進行係のアイデアで途中で席替え、食べ物持参でいやあどうもどうも御無沙汰やね、そんな場面を小泉さんパチリパチリ、「ええ顔しようか」に、自然がええんやそのまま。

最後は幹事長田辺をはじめ幹事団あいさつ、ホントのお開きは全員で校歌ゆうべの星の大合唱でした。

次回は来年5月20日北辰総会当日に開催予定です。詳細は別途、奮っての参加待ってまーす

編集雑記

噂話です。近頃永田町界隈の蕎麦屋のメニューから盛りとかけ、が消えたそうで、ある筋の最高レベルの要望だとか官邸Aの意向などは、口が裂けても言えないけれども、メニューに焼きのり貼り付けていわゆるのり弁状態に、これならいつでもベリッとめくりやあ元通り。それで代わりに、かんていと、もんか、をメニューに追加したところ、もんか、がわりとよく出て、お客が「もんか有るか」ってニヤッと注文するとかしないとか。



前列4人目から山本、菊井両先生
3列目中央、坂本さん



まあこれも、秋風が吹くころ、干からびた焼きのり、ベリッと捲れば一丁上がり。忘れっぽいのが国民の美德か、いずれ支持率も今に元通り、何事もなかった事になっちゃうんだらうねえ、いと寂し。

さて、私たちは来年5月20日、何事もなかった様に元気な顔で再会したいものです。

2017年北辰25期会スケッチ

まえだ なおと
世話人 前田 直人 (25期)

最近の25期会、参加者は30人を切っています。27名の方が集まりました。今年は初参加者や、久しぶりの方が多いのが特徴でした。内田さん、白石さん、三谷さん、福原さん、西谷さん、竹内さん達です。道に迷った人が2人いましたが定刻に始まりました。

25期会からの連絡を辞退される方も6名居られます。それはそれで尊重したいと思っています。

また、お亡くなりになった方、病気で苦しんでいる方、老々介護で困っている方など皆さん、それぞれ悩み、困難を抱えながら同期会に参加されています。

同期生を伴侶に持ち、昨年亡くなった内田裕康さんの奥さん、初めて参加された内田豊子さんからお礼の挨拶と会へ2万円の心付けが有りました。感謝申し上げます。

今回も板脇さんから各人へ4枚位の写真が届けられました。何時も代金は辞退されます。感謝とご報告させていただきます。また、何時ものように渡部さんにも写真をお願いし前田のPCへ取り込ませて頂きました。「北辰会HP」などへ利用させていただきます。

来年の25期会は5月20日(日)北辰会総会に当てます。皆様のお元気なお姿を見たいものです。

会は何時ものように斎藤世話人の司会で始まり、お亡くなりになりました先生、同期生の黙祷から始まりました。

河崎世話人から世話人会として出来るだけ長く存続させ楽しく、元気の出る会にしたいと開会挨拶が有りました。

前田世話人から今後の会の運営について、毎年開催します。簡素にする。近況報告集は出します。

事務費は適宜頂きます。今回の事務費の状況報告。25期会としてもPCメールの活用。

昨年度の会計報告。そして、北辰会からのお礼、来年の北辰会総会、懇親会の参加のお願いが有りました。それら拍手で承認して頂きました。



25期会 集合写真

た。本当に真摯に聞いて頂きました。キッチリ30分の会議でした。有難うございました。

渡部さんの乾杯音頭で食事、歓談が始まりました。

今回のムードメーカーは河野さん、佐々木さん、白石さんでした。皆さん、腹を抱えて笑っていました。彼らが世話人に成っていたら25期会も今とは別の会になっていると思いました。今後とも宜しくお願い致します。

今年も宇羅さんは輪島市から駆けつけて頂きました。お饅頭と夜中からの精米で皆さんにお米のお土産がありました。有難うございました。30haの農地を経営しています。天候に頭を抱えています。

三谷さんはお子さん5人とお孫さん17名、これは表彰ものです。ご苦労様です。

横谷さんは日本陸連のS級公認審判員になりました。

河崎さんは夜中に起き勉強しています。漢字

検定2級に手が届きそうです。

西村さんの男子双子のお孫さんは、小学校の運動会で紅白に分かれての応援団長だったそうです。

名前は球児、虎輝だそうです。亡き、ご長男さんが虎きちだったのでこの様な命名です。

高田さんは豪華客船で世界一周して見聞を広めました。

松下さんは身体の骨を痛めたり、骨折したり不自由ですが子供たちへ読み語りボランティア活動しています。

前田和子さん、何時もは一言の挨拶で終わるのですが今回は良く話して頂きました。ほぼ同期会は皆勤です。皆さんから拍手を頂きました。

河野さん、白石さんに髪を切るとハサミで追いかけられたそうです。指を差された白石さん、ああ、あのわんぱくな顔の持ち主では、やるなあと皆さん、納得していました。その、彼女を会へ誘い込んでくれたのが皆勤賞の佐々木さんです。来年も「手を繋いで」参加者して下さい。

彼女、本当に面白く盛り上げてくれます。昨年、私、独身です。と言って連れ合いを募集していましたが？残念ながら今年も単身の男性はいないようです。

等々全ての方が近況報告を致しました。

松下世話人の閉会挨拶は司会者が黙禱の時、名前が出ないようにまたお会いしましょう。と結ばれました。

吉岡世話人のリードで私達の絆、校歌ゆうべの星を斉唱致しました。私達が共通して心に響き分かり合えるのは校歌のようです。卒業後何十年も経っているのにすーと入り歌えると皆さん言っています

記念撮影の後2次会へ流れました。

2次会は20名もの多くの方が喫茶店で話の続き、3次会はクラスメートやそれぞれが集いました。

会費、飲み放題4千円で料理内容に不満が無い心配していましたが25期会は安価でおいに喋れば良いという会のようなのです。

亡くなった友、色々な困難にめげずに頑張っ

ている仲間を思うことそして、

身体に気を付けて元気で過ごすことが私達も明るく生活でき仲間にも励ましになると思います。

皆さんのご健勝を祈り再会を楽しみにしています。

追伸

写真等近況集に貼って頂けたら幸いです。

2017年 26期同期会を開催しました

世話人 おがわら 小河原 きょうこ 京子、ふろ 風呂 しんいち 信一、かねだ 兼田 よしはる 吉治

卒業後50年目の秋、2017年10月18日大阪梅田ヒルトンプラザB2「たちばな」にて、恩師山田先生を始め、遠くは輪島から宇羅さん、富山から岡田さん、東京から直嶋さんなど33名が集いました。



小河原さんの司会で始まり、最初に鬼籍に入られた同期14名と恩師2名の方々へ黙禱を捧げました。その後、岡田さんの開会挨拶、山田先生のご挨拶、直嶋さんのご挨拶、続いて北辰会からのホームページ運営の報告、北辰会会長からのお祝いのメッセージを紹介して頂いた後、風呂さんの音頭で乾杯！ 楽しく歓談が始まりました。

「元気そうなや！」「まあ 何とかやってるよ！」2年ぶりの笑顔が揃い、孫の事や健康のこと、楽しく旅行など人生を謳歌している話し等、あちこちで談笑が続きました。

歓談の後、それぞれが近況を報告し合い友の笑顔に元気を頂きました。

次は、来年5月20日北辰会総会での再会を約束し、記念撮影の後14:30に解散しました。

2017年 27期1の5クラス会

あだち せいじ
安達 清治 (27期)

愛知県知多半島の先「日間賀島」に幹事堀川さん、森本さん、サポーター中村さん、安達でとれとれの海鮮料理と青春時代がよみがえる島一周のサイクリングを楽しんできました。



27期1の5クラス会
右列2人目、安達さん

山岳同好会懇親会報告

こだま たかお
児玉 隆夫 (20期)

日時：平成29年12月3日 12:00から15:00まで
場所：がんこ十三総本店

昭和35年に作られた山岳同好会の名簿をもとに、連絡を取り合って懇親会を開きました。出席者は佐野哲郎先生、野村茂夫先生、奥村和巳・和子先生ご夫妻、職員の志水孝さん、卒業生からは14期岡本（志水）文子、18期西岡頌祐、19期中井（志水）幸子・義和夫妻、20期磯田（岩本）久子、上田豊、大賀隆、大久保（白

川）淨子、上辻（宮島）昇子、児玉隆夫、原田桂治、堀川（和田）昭子、真鍋（寺本）笑子、三輪元二郎、21期杉原（高岡）紀代子、22期前田進、23期西阪一裕、24期掛本洋之の23名でした。

20期生は毎年のように集まる機会をもっていました。学年を越えての集まりは初めてでしたので、顔を合わせるのが50数年振りであったり、初めて会う人もいたりしましたがそこは同じ先生方のもとで活動した者同士のことなので、会は初めから和やかな雰囲気にもまれて進行しました。持参された高校時代の写真を見ながら、懐かしい当時のいろいろな思い出を語り合い、話が尽きませんでした。しかし、忘年会シーズンで時間が限られていたため最後は皆で校歌を斉唱し、再会を期して解散しました。

*事務局

児玉さま本当にご苦労様でした。遠く離れた東京、横浜、丹後からの参加があったと聞いています。この様な会を開催して頂ければ伝えたいこと話したいこと御礼等自分の胸に抱えて行くことになったでしょう。また、昔話などに全ての人が元気を頂いたと思います。良かったと思います。



山岳同好会懇親会
前列左2人目より志水、野村、佐野、奥村各先生
3列目右端、児玉さん

途上人 KITANO 2017年 忘年会

かねだ よしはる おがわら きょうこ うめたに たけし
世話人 兼田 吉治、小原京子、梅谷 武 (26期)

平成29年12月1日（金）途上人KITANO 2017年 忘年会をヒルトンプラザイーストB2「たちばな」にて開催しました。

富山市から岡田さん、輪島からの宇羅さんを始め17名が集い、中西さんの音頭で乾杯。7月に実施した宇羅さん宅農業訪問例会以来、一年ぶりの人など笑顔で近況を語り合い楽しくお酒を頂きました。

男性軍皆さん髪も白くなり、足が痛い・腰が痛いなど一病息災の話も多くなって、元気なうちに楽しもう。楽しめるように健康を維持しようなどの声も多く聞かれました。

2次会では有志12名カラオケで盛り上がりました。

2018年の新穂高登山例会は体力と気候安定を優先して7月26日（木）～27日（金）に日程変

更しました。金剛山雪中登山は2月1日（木）です。会員の皆様ご予約下さい。



事務局からの報告

2017年 北辰会常任幹事会、 北野高校校長、教頭、事務長3氏 との越年懇親会開催

2017.12.06 十三東「こがんこ」にて上記懇親会を開催致しました。

小河原副会長の司会で会長挨拶、恩地校長先生の挨拶、森田教頭先生の乾杯で直ぐに食事、お酒、懇談が始まりました。

校長先生とは2回目の顔合わせ、教頭先生とは昨年来多く、山内事務長さんとの会食は久しぶりでした。

先生から見て北辰会はおじさん、おばさんの年齢です。むつかしい教育関係の仕事の先生方、北辰会のパワーを頂いたでしょうか。私達もあの北野高校のトップの皆さんと会食、懇談が出来、親近感が一層まし、北辰会へ大きなエネルギーを頂いたと思っています。

それぞれがお互いの席で和やかな歓談が続いています。

盛り上がった所で、校長先生から小河原副会

長へ歌のリクエストがあり、井上さんのサポートで美空ひばりの「愛燦々」をアカペラで歌い上げました。

乗った所で、岡田会長の校歌斉唱がありました。これは自然に全員の合唱に変わりました。

何時も控えめの会長の歌が飛び出すとは！！皆さん、喜びのビックリでした。会費のものは取れた気分だったと思います。

29期、書道家の竹本大鶴さんから報告があり、奈良県桜井市の相撲神社の「野見宿禰石碑」に故長谷川路可画伯の絵の左右に「勝利之聖」と「野見宿禰」を揮毫されました。また、その石碑のデザインは郵便切手セットの一つに組み込まれ販売されています。それをお土産に頂きました。

また、2017年第4回「日展に7年連続入選」



前列左から、北辰会前田事務局長、北野高校山内事務長、北野高校恩地校長先生、北辰会岡田会長、北野高校森田教頭先生、北辰会小河原副会長（後列常任幹事各位）

された報告とその写真も頂きました。北辰会としても誇りと喜びを分かち合いたいと思います。

会報、文集発行でお世話になっておりますタブレットの山本さんから皆様に来年のカレンダーの提供がありました。

最後に小河原副会長から閉会挨拶がありました。和やかに懇親会は終わりました。

そして、いつものように兼田事務局次長さんはカメラで会の写真を撮って頂きました。ご苦勞様です。

2018年幹事会報告

一. 人事（敬称略）

1. 役員の異動

新任 常任幹事 23期 畑地 豊
(23期幹事は兼任)

2. 幹事の異動

新任 14期 渡辺佳代子
退任 14期 川原千恵子（死去）

3. 事務局員

新任 29期 竹本大鶴

4. 学校人事

新任 校長先生 おんち ただし 恩知 忠司
大阪教育大学 教授から
英語科、58歳
転出 校長先生 むかいあぜち 向畦地昭雄
大阪府教育庁
教職員振興室長へ

二. 会計報告と2018年会計見通し

- 2017年繰越金は270万円です。
- 支出合計額は119万円です。主な支出は会報23号発行。幹事会開催費用。事務所維持費。印刷機のトナー。PC購入補助などでした。
- 2018年会計と繰越金の見通しについて
 - ランニングコストの概算見積額 210万円
2018年ランニング活動費は130万。北宸V作成費180万円。これは文集が上下巻の2冊に

なりました。それに伴い予定額100万円から送付費用も含め概算で80万円アップします。合計金額は210万円になります。

② 総会経費 総会会費で賄います

総会参加費一人7千円で総会経費を賄います。

2014年総会は208名参加者、会費7千円で収入合計145万円、経費は138万円で黒字7万円でした。2018総会の参加者の目減りを防ぐ必要が有ります。

③ 賛助金 200万円を目標にします

2016年賛助金運動では422名の方から227万円頂きました（197名の北宸V予約者含む）
2014年総会時は502名240万円でした。是非とも200万円確保することを目標に致します。

④ 2019年活動資金 260万を目標にします。

2019年繰越金の予定額は2017年繰越金270万円+2018年賛助金予定額200万円-2018年活動費210万円（文集作製費を含む）=260万円です。これは最大見積額です。

三. 2017年名簿点検結果について

- 1期～15期の310名記載者を8名で調査削除50名、変更18名を確認しました。
- ② 会報23号戻り調査は20名あり削除8名12名の方に再発送致しました。

四. 「北辰会HP」の報告

- 2017年3月幹事会での報告以降も順調に更新が来ています。
- 2017年1月以降の閲覧状況

閲覧月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
閲覧者数	1547	1649	1687	1939	2043	2164
閲覧月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
閲覧者数	1877	1580	1671	1791	1658	1871

2017年も毎月1500～2000人の方々がアクセスされ、閲覧して頂いています。

この閲覧状況は2015年以降継続しています。ほぼ固定化して来ていると判断します。

3. 「北辰会HP」への掲載状況

- ① 2017年1月以降、会員皆様からの投稿記

事、写真など41本（2016年は年間46本）を掲載させて頂きました。

- ② 同期会の状況も情報が届き次第掲載しています。2017年は掲載順に、21期、23期、18期、24期、25期、26期、17期、の開催案内や開催報告を掲載しました。
- ③ 同好会では下記を掲載しました。
 - (1) 13期歩こう会：2017年度計画書、118、119回例会報告。13期歩こう会広報誌“フォト・プレス”121回、127回、128回例会報告。
 - (2) 途上人KITANO：金剛山雪中登山、桜の花見報告、能登の宇羅さん農業訪問と能登ハイク、12月の忘年会。
 - (3) 山岳同好会：20期兎玉さんの努力で50年ぶりに開かれた山岳同好会懇親会報告。
- ④ 事務局からも北辰会活動報告を多数掲載させて頂きました。

4. 同期会の開催案内や報告などの「北辰会HP」への掲載について

- ① 更新は事務局に原稿が届き次第行います。画像の受付も行います。
- ② 活動紹介等は、1～2枚の写真と200～300字の内容説明文をメール添付などで送付して頂きましたら事務局にて作成して掲載します。
- ③ その際、写真はデジタルカメラの電子ファイル(jpgファイル)で送付して頂くと綺麗に掲載できます。紙プリント版からでは画質が低下し、せっかくの写真が荒くなります。
- ④ 同期会や行事の開催案内や活動紹介に活用して下さい。
- ⑤ 会員皆様にて作成して頂いた資料はそのまま掲載することができます。掲載時期も早くなります。

五. 同期会・同好会について

13期「歩こう会」は9回、通算128回を数え継続しています。

17期会 16名で10月18日近江八幡水郷めぐり、食事を楽しみました。

18期会 毎年開催されています。今年は3月12

日十三東「こがんこ」で25名でした。

19期会 南部会として10月エスカイヤホテルで18名の参加。開催しています。期全体に広げる努力をしています。

21期会 同期会とは別に幹事さん中心に小グループの懇親会が開催されています。

23期会 卒後52年目に初めて同期会が21名の参加で開催されました。（名簿判明者の36%）

24期会 6月6日十三東「こがんこ」で山本、菊井先生を含む23名の参加で開催されました。

25期会 6月4日十三東「こがんこ」で27名。久しぶりの方々が多かったようです。

26期会 10月18日、ヒルトンプラザイーストたちばなにて山田先生を含む33名の参加で開催されました。

27期 1の5クラス会が11名の参加で開催されました。

29期 友人たちの小会合が開かれています。

50期以降 「チャミスル会」50期以降の幹事有志の集まりが5月19日鶴橋、4名で発起会が開催されました。世話人は河内51期、南53期、千賀62期の各幹事と松浦54期の4名

山岳同好会懇親会 期を越えた集まりが初めて12月3日、がんこ十三総本店にて佐野哲郎・野村茂夫・奥村和巳、和子ご夫妻・職員志水孝さんを含む14期から24期まで総数25名の参加がありました。東京。横浜、丹後など遠方からの参加もありました。

途上人KITANO

- ① 金剛山雪中登山（2月2日）参加者8名、
- ② 須磨浦公園での桜の花見（4月5日）10名、
- ③ 能登の宇羅さん宅農業訪問と能登ハイク（7月20日～21日）17名、忘年会（12月1日）17名の例会が開かれました。

六. 文集「北辰V」について

1. 5月20日の北辰会総会に併せて発行致します。
2. 上下巻の2冊になります。

3. 「北辰会HP」にこれらのデザインを掲載致しています。ご覧ください。



表紙



裏表紙

③ 2018年同期会は総会も成功するよう設定して下さい。

2. 賛助金運動の目標額は200万円と致します。

① 2014年賛助金運動では484名の方から236万円頂きました。

2016年賛助金運動では422名の方から227万円頂きました。

② 総会に合わせて賛助金運動の目標達成。幹事さんの要請が有れば期の賛助者名、賛助額リストを用意致します。

3. 「北辰会HP」の活用を強める。多くの会員皆様に勧めて下さい。

幹事さんで「北辰会HP」を見る事ができる方は月2回は閲覧して下さい。

会員皆様のメールアドレスの把握に努めて下さい。

4. 「北辰V」2018年5月20日北辰会総会に合わせて発行致します。

5. 声の便り運動

幹事さん不在、同期会開催不能の先輩1期～16期への激励と併せて住所確認作業を致します。

会員皆様の異動が有れば直ぐに事務局へ連絡下さい。

6. 北辰会報24号の3月中旬発行 事務局報告

総会・懇親会、賛助金運動の案内状、依頼文書「振込み用紙」の添付

7. 同期会・同好会が出来るだけ長く開催されるように援助致します。

七. 母校との懇親会

表敬訪問 5月8日恩地校長へ、会長以下7名で致しました。

懇親会 12月6日、校長先生、教頭先生、事務長を含む在阪常任幹事合わせて15名で忘年会を和やかに開きました。

八. 今後の活動

1. 2018年北辰会総会・懇親会・賛助金運動

① 総会・懇親会の実務は事務局・拡大常任幹事会が負います。

② 会費は7千円前回同様とします。

2014年総会からの目減りを最小限にいたします。2014年208名の参加がありました。

九. 作品寄贈の申し出

1. 14期 増野喬さん 風景画の油絵

2. 29期 竹本治男(大鶴)さん 日展入選作品の書

上記の作品を北辰記念室への寄贈の申し出がありました。北辰会には有難く受け取りません。

5月20日(日)の北辰会総会、懇親会でお披露目致します。

十. 感謝状、記念品贈呈

北辰会活動を私心なく大きく貢献された方々8名です。

2018年3月吉日

北辰会会長 岡田多聞
北辰会事務局長 前田直人

北辰会賛助金(運営資金カンパ)のお願い

北辰会の活動は、会員皆様からの賛助金を戴いて運営しております。

年会費を徴収せず、総会時と総会の中間年が賛助金対象年となっております。

皆様からの賛助金のお陰で、会報の全員配付、4年毎に開催される総会の準備、常任幹事会など各種会合の開催、文集の発行等々の北辰会活動が順調に運営されております。

今回は北辰会文集、「北辰Ⅴ」～ほたるに雪に～を皆様にお届けする事ができました。又、同期会・同好会・北辰会報・「北辰会HP」などで北辰会を一層皆様の身近な存在にしていきたいと努力致しております。今年は総会です。明るく元気の出る総会にしたいと張り切っています。

2016年賛助金運動では422名の皆様から総額227万円程頂きました。有難うございました。

北辰会の1年間の支出は約140万円位です。この内、主な支出は70万円の会報発行費です。2,000人の会員皆様へ送付されています。北辰会としても今後のことも考慮し経費節減に努めてまいります。

賛助金 200万円 目標としています。なお、不足金は手持ち資金で賄います。

2018年、2019年の2年間 活動費 280万円

年金生活や、医療費等々で皆様の生活も厳しいことと推察しております。

閉課程や皆様の年齢も考え、会員相互の信頼と絆を一層堅固なものにして、常に活力、安らぎを与えてくれる北辰会を維持するためにも、この目標はぜひ実現し、出来る限り北辰会を元気に存続させたいと願っております。役員一同誠心誠意努力して参ります。皆様の絶大なるご支援をお願い申し上げます。

つきましては目安として **1口3,000円** からお願い致します。

*添付の郵便振替用紙をご利用下さい。(振込み料は不要です)

*出来る限り4月末日までに添付の振り込み用紙で振込みお願い致します。

*文集、記念誌は在庫がありますので、併せてご購入の程お願い致します。

◇北辰Ⅳ「はるけき流れ」価格1冊	¥1,000円(送料込み)
◇北辰Ⅲ「ゆうべの星」価格1冊	¥1,000円(送料込み)
◇72年史 価格1冊	¥2,500円(送料込み)
◇40年史、60周年誌 価格各1冊	¥500円(送料込み)